

TOKYO働き方改革宣言

従業員の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を目指して、従業員満足度の向上を通じ顧客満足度の更なるアップを目指す。

平成30年4月26日

株式会社 ファブリス

目 標

働き方の改善

勤務終了から次の勤務開始までのインターバルを11時間以上確保し、勤務終了後の休養を十分に取ることにより、次の勤務への英気を養い、生産性向上に繋げる。

休み方の改善

前年度繰越分を含め1年の年次有給休暇が5日を超える全従業員に時間単位の年次有給休暇を取得できるように就業規則を定める等、年次有給休暇の取得率向上を目指す。

取 組 内 容

働き方の改善

勤務間インターバル制度を確実に定着させるために、タイムカードによる客観的な記録を基礎に、始業・終業時刻及び休憩時間の正確な把握に努め、更に従業員同士の緊密な連携により業務の的確・迅速な遂行を図ることとする。

休み方の改善

誰でも気軽に年次有給休暇を取得できるように、さらに時間単位の年次有給休暇の取得を可能とする年次有給休暇の管理表を作成し、心身共に健康的な職場づくりの形成に努める。